

## 第216回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時:2008年10月17日(金) 13時~17時15分

会場: **東京理科大学薬学部校舎 薬学部1412教室(14号館) アクセス**  
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]  
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩15分)。  
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

### 講演主題:ハイスループットHPLC分析の先進技術

最近の高速液体クロマトグラフィーは、その分析システムや充填剤に関する技術進歩が著しく、あらゆる応用分野において、高速高分離化が急速に進んでいます。本例会では、ハイスループット分析を実現したこれらの先進技術について、システムや充填剤等の多岐にわたって御講演頂きます。

#### 講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:15)

(東ソー(株))伊藤 誠治

2. Ascentis Express : 全てのLCに新しい可能性を! 通常のHPLCをUltraに変革します (13:15~13:45)

(シグマアルドリッチジャパン(株))石倉 正之

3. アジレントのハイスループットHPLCカラム 最近の動向について (13:45~14:15)

(アジレント・テクノロジー(株))松下 邦明

4. "Prominence UFLCシリーズ"による高速高分離分析について (14:15~14:45)

((株)島津製作所)○吉田 達成、山口 忠行

5. 低流量から高流量まで80MPaの高耐圧を実現した次世代Rapid Separation LC (14:45~15:15)

(日本ダイオネクス(株))大河原 正光

6. UPLC分離を実現するテクノロジー(15:30~16:00)

(日本ウォーターズ(株))津田 葉子

7. コロナCAD荷電化粒子検出器のFAST-LCへの応用(16:00~16:45)

(エム・シー・メディカル(株))千田 正昭

8. 総括:「ハイスループットツールとしてのLC」(16:45~17:45)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

#### 参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円、その他:4,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

---

## カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

---

## 技術・情報交流会

講演終了後、講師を囲んで技術・情報交流会を開催します。会費1,000円。

---

## 申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい。

参加証は発行致しませんので、直接会場にお越してください(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

## 申 込 先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:[hm\\_tanaka@jsac.or.jp](mailto:hm_tanaka@jsac.or.jp)]